

沖縄カトリック中学高等学校  
学校通信

# 野ばら 11月号

発行  
沖縄カトリック中学高等学校  
〒901-2215  
宜野湾市真栄原3-16-1  
TEL 098-897-3300  
<http://www.catholic-okinawa.ed.jp/>  
2019年10月31日(木)

## そういうこともある 神の招き

校長 夏見隆晴

子供を学校に通わせている親世代は、我が子が一日を終えて帰宅した時の様子で、今日も一日無事であったかとか、何か学校であったのかとか一喜一憂しながら、一日を終えているのではないかと、推察いたしております。人は、大人であれ子供であれ、誰もが外で何かあっても、帰宅早々外であった事を、人に語る事はしないものです。もっと自分で考えてみる必要があると思われる事柄について、そう簡単に他人に聴かせる事ではないと考えます。子供なりに親のことを案じ、心配を掛けたくないとの思いに駆られているのです。

長年、私学の中高一貫校で教育に当たってきた経験から述べさせてもらうなら、男子生徒の方が親、特に母親に対しては、口下手になる傾向がみられたように思います。けれども、それは男子生徒の母親への思いが薄いというのではなく、己の思いを言葉にするのが上手でない、という事になるのでしょうか。親への感謝の思いに、男も女も違いなど無いと断言しても良いように思われます。むしろ母親自身が、息子の心の内を理解しているので、どの母親も「うちの子は口下手で」などと、堂々としておられるのでしょうか。

わたし自身の人生を振り返ってみても、母親に面と向かって感謝の言葉を述べたという記憶はありません。わたしの場合、長い期間を大学で学ばせてもらいました。就職の事を考えて入学した外国語学部を、卒業時には就職の道を選ぶことをせず、文学部への転部入学という道を選び、両親には先の見えない不安感を与えることになりました。この人生の大切な時期の変更の裏には、わたしの心の大きな変化がありました。それは、母親が望んでいた「教師への道」を歩んでみたいという思いが、強くなってきていたのです。

教師となって子供達の前に立つためには、ただ外国へ行って来た、という事実だけではいけないのではないかという思いが、心の中に湧き起こってきたのです。そのためには、自己の心の中に何かを蓄えることが必要ではないか、との思いが心の中で沸々と湧き起こり、その声を聴き続けるようになって来ていたのです。幸いにも、父母も兄や姉たちも「教育」への理解があったので、わたしの転身を認めてくれました。こうして二度目の大学生活を楽しめる環境に喜びを持って再び学生生活を楽しむ事が出来ました。

そして教師になる資格を得た私は、卒業した大学のご縁でカトリックの男子中高等学校で教鞭を長くとった後も、引続きカトリックの女子や共学校で教師として招かれ、今日に至っております。勿論、教育に携わるという事は容易いことではありませんでした。けれども片方で、大きな喜びも頂きました。それは、わたしは本当に多くの立派な教え子に恵まれたということです。彼ら彼女らは、皆が皆、私達の父である神様から招かれてきた子供であったのです。これは、主なる神イエス・キリストのご配慮であったのです。

# 「好き」の力



枝松 ひとみ

中学生の頃、一学年200人もいながら3年間クラス替えがなく、3年に上がるころには男女が犬猿の仲となっており、青春時代の輝かしい思い出はほとんど作れないまま卒業を迎えるということがあります。今思えば、同級生との会話から多くの情報を得られなかったことに悔しささえ覚えます。

高校に進学し、「絶対に楽しく過ごしたい」と心に決め、同級生皆が仲良く、楽しい毎日を送るにはどうすればよいかを考えました。努めて行ったことは、高校入学と同時に、クラス全員を「好き」になり、目はどنگり並みに見開き（敵意を消すため）、相手の目を見て明るく、毎日、笑顔で全員に挨拶を行いました。

結果は、大成功。クラスメートは毎日笑顔で、自ら学校生活を楽しみ、仲間を支え、向上心を持ちほぼ全員が希望する進路へ進むという快挙を成し遂げました。高校で培ったこの絆は一生続くと信じています。

沖縄に移住して8年、最近特に「好き」という言葉を耳にするようになりました。

「好き」の言葉を発している人は決まって何かしら素晴らしい結果や成果を出した人、またはその人への褒め言葉となっているようです。

本校12, 13期生の医学部を合格した卒業生は、授業の合間に、「大好き」な生物図鑑を小脇に抱え、いつも嬉しそうに眺めていました。また、昨年現役合格した卒業生は「大好き」な「細胞性粘菌キイロタマホコリカビ」（東京大学医学部でも研究されている）について目を輝かせ、よく今後の医学への展望について話しをしていました。ところがこれが功を奏し、合格の一助にもなったのです。

また、先月行われた茨城国体では、14期生の藤原孝史朗君が陸上競技の円盤投げで日本一に輝き、その時に引率された県の先生から『「好き」こそもの上手なれ』とお祝いの言葉をいただいております。

さらに、17期生の河野瑠導君は、第59回県児童・生徒科学賞作品展で見事最優秀賞に選ばれ、第63回日本学生科学賞（読売新聞主催、旭化成協賛）に出品されることが決定しました（研究テーマは「汎用深浅度自律型水中探査機の研究と開発」）。この大会で上位入賞したあかつきには科学オリンピック（世界大会）に出場することとなります。

表彰式では理科研究会会長より、ここにいる児童・生徒さんは理科が「好き」で、一生懸命に探求を続けてくれました。これからも人や環境のためになれる人を目指して頑張ってもらいたいと謝辞をいただいております。

「好き」の力は、様々な偉大な力と結果をもたらします。

人を引きつけ、繋ぎ、団結力を生み出し、人を支え、個々を磨き、未来を切り開きます。

まだ迷っているあなた、「好き」の力を信じ、夢を掴むためにまずは行動してみませんか？



# 11月の行事

11月1日(金)	中1～3 総合学力調査 高1～2 総合学カテスト 高3 ベネッセ駿台模試(マーク)
3日(日)	文化の日 英検二次会場
4日(月)	文化の日振替休日
5日(火)	スクールカウンセラー来校日
6日(水)	職員会議(16:20 完全下校)
8日(金)	漢字検定(放課後)
9日(土)	総合(体育祭りハーサル)
12日(火)	スクールカウンセラー来校日
13日(水)	小2・中1交流会
14日(木)	スクールカウンセラー来校日
16日(土)	総合 PUP⑦ 学校見学会④
22日(金)	体育祭前日準備・リハーサル
23日(土)	体育祭 勤労感謝の日
25日(月)	体育祭振替休日
26日(火)	スクールカウンセラー来校日
27日(水)	委員会活動⑤
30日(土)	内部進学・推薦入試

## 生徒の頑張り！

You did it!

### ★令和元年度「私たちの文化財」 図画作品募集 入賞

中3 中山 盛榎 入選

作品名 弁之御嶽(びんぬうたき)の北側にある大嶽(うふたき)の石門

### ★第59回 沖縄県児童・生徒科学賞作品展

中3 河野 瑠導 最優秀賞 テーマ「汎用浅深度自立型水中探査機の研究と開発」

上記作品は今後「第63回日本学生科学賞」へ出展予定

中3 平良 悠 佳作 テーマ「空中浮遊コマの実験」

You did it!  
Congratulations

### ★第74回国民体育大会 陸上競技

高3 藤原 孝史朗 少年男子共通 円盤投 第1位 記録51m40

### ★第2回ガクアルFESTA 高文連軽音楽コンテスト 観客賞

軽音学部 バンド名: NEXT→

高2 富田 さくら

高1 吉川 宗志

高1 與那嶺 浩士

中3 福原 卓哉